



共に
支え合う
ということ



正しい
知識
を身に付けること

こころの病と向きあう



共に
働く
ということ



共に
暮らす
ということ

企画意図



うつ病や統合失調症など心の病は、誰でもかかる可能性のある病気です。しかし、こうした病気に対する偏見はまだまだ根強いものがあります。心の病に対する偏見は、患者や家族を社会から阻害し、また、偏見によって適切な治療ができないためにさらに病気が悪化する場合があります。

この作品は、心の病に罹患した人々や、周囲の人々の日常をドキュメントし、心の病に対する偏見について問い直し、心の病と人権について考えていくための教材として作成しました。

本編25分

DVD 69,300円(本体66,000円)
(字幕版付き) [C#2968]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

内 容

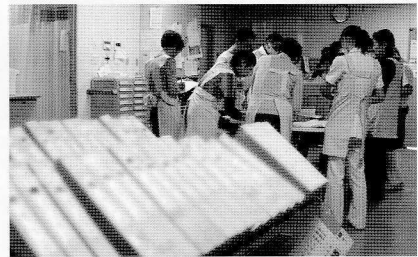
■誰にでも潜む“心の病”とは？

10年前にうつ病と診断され、精神科病院に入院していた白石さんに、病気にかかったときの経緯や、病気に対する思いを聞く。こうした心の病とは一体どのようなものなのか？



■入院医療の最前線

現場の病院ではいま、どのような治療が行われているのか？ 現在では、入院しなくても、薬を正しく服用し、定期的なカウンセリングなどを受けることで社会生活を送っている人も多くなっている。しかしその一方、病状的に退院が可能なのに受け入れる家族がないなどの理由で「社会的入院」と呼ばれる患者が全国に7万人も存在する。



■阻害と偏見、問われるメディアの在り方

19歳のときに統合失調症と診断された小川さんは、病院内にあるデイケアを利用しながら生活している。小川さんには以前、別の病院の閉鎖病棟で過ごした経験があった・・・精神病院は怖いところというイメージは、メディア報道の問題もあり、いまでも根強いものがある。



■患者を支える家族の思い、そして地域コミュニティ

家族は患者や社会に対してどのような思いを抱えているのか、またその苦悩とは？「家族会」が語る真実の声。

また地域活動支援センター「そらのまめ」では、心の病を経験した当事者が主体となり、さまざまな病気や障害を抱えながら地域で暮らしている人たちや、その家族に対する支援を行っている。患者にとって地域で暮らししていく中で抱える問題点とは？



■患者にとっての“就労”

アルバイトやパート社員として病気や障害がある人を積極的に雇用している企業がある。千葉市内に本社を置く企業の人事担当者に、心の病を持つ人を雇用することが会社にとってどのような意味があることなのかを聞く。



—たとえ病気や障害があっても、人は幸せに生きる権利があります。

社会を生きる仲間として接していきながら、一人一人が正しい知識を身につけましょう。—

プロデューサー 中鉢 裕幸／大高 彰
構成・監督 大熊 照夫
撮 影 松丸 武彦

ナレーター 津野まさい
音 効 ヴァンクル

制作協力 株式会社トライビジョンプロダクト
企画・制作 東映株式会社 教育映像部

2012年作品

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区橋本町5-2 〒730-0015 ☎082-511-2066
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

北辰映像株式会社
埼玉県さいたま市緑区三室2190-2
TEL 048-810-5277 : 〒336-0911